

教育DXの中心となる「新たな教育センター」の 事業予定者を決定しました！

横浜市では、教育DXの中心となる「新たな教育センター(「(仮称)スマート教育センター」)」の整備について、令和4年1月から公募型プロポーザル方式により募集を行い、その結果、4者からお問い合わせをいただき、1者から提案書の提出がありました。

この度、「新たな教育センター整備事業に係るプロポーザル評価委員会」において審査を行い、その結果、次のとおり事業予定者を決定しましたので、お知らせします。

今後は、事業予定者と建物整備に向けた協議に着手するとともに、開業に向けて「調査・研究・開発」等の機能について具体的な検討を進めていきます。

なお、今回の整備手法は、事業者が整備する建物に教育センターが入居する建物の賃借方式となります。

1 事業予定者

事業予定者	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社(東京都千代田区外神田4-14-1)
-------	------------------------------------

2 提案概要

事業 コンセプト	<p>「街の結節点 “Connecting”」</p> <p>街×自然×歴史 <コミュニケーションのプラットフォーム> 多様な人々が集う場所に、新たな交流の場の創出</p> <p>学ぶ×働く×にぎわう <オープンイノベーション> 教育センター、オフィス、商業を集約した複合施設に、様々な目的を持った人々が集うことによる新たな変化の創出</p> <p>快適×安全 <サードプレイス> 職場(学校)を離れ、多様な価値観に出会える場としての、安全かつ居心地の良い空間の整備</p>
整備予定地	横浜市中区山下町196番1の一部(敷地面積:約3,400㎡)
フロア構成	地上9階、地下1階の建物の一部(1~5階)に教育センターが入居 専用エントランス、研究・研修室、企業・大学等との共同研究室、スタジオ、教育相談室、執務室等



イメージパース(外観)



整備予定地

裏面あり

3 新たな教育センターについて

(1) 基本理念

「子どもの新たな学びを創造する『教育デザインラボラトリー』
～産学官と連携し、子どもの教育に関わる様々な人々が集い、互いを刺激し合う
開放的でクリエイティブな教育センター～

(2) 各機能

「調査・研究・開発」を核とした「人材育成」「教育相談」「発表・発信」の4つの機能をベースに、最先端のICTを駆使した「(仮称)スマート教育センター※」として整備します。

具体的には、スタジオを活用したリモート授業の配信、市内約24万人の児童生徒のビッグデータを活用できるデータベースの構築などによる教育DXの推進や、企業・大学等と共同で研究を進めるスペースを整備することで、オープンイノベーションにより教育課題を解決し、横浜の子どもたちに還元していきます。

また、教職員の教材研究・研修環境の充実、児童生徒・保護者の利便性の向上のための教育相談のワンストップ化、作品・成果の発表などにも取り組みます。

※「保育・幼児教育センター(仮称)」(こども青少年局所管)の機能を併設



スタジオを活用した授業配信
(フューチャールーム)



企業・大学等との共同研究
(オープンイノベーションルーム)

4 今後の予定(事業者の提案内容より)

令和4年10月	基本協定の締結、設計協議
令和5年4月～	設計
令和7年4月～	既存建物解体及び新築工事
令和11年4月	開業

提案内容・イメージパースは事業提案時のものであり、今後変更する可能性があります(著作権は応募者に帰属します)。

【参考】

公募の概要や評価委員会の結果は横浜市教育委員会事務局教育政策推進課のホームページからご覧いただけます。

URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/kakukukyoku/2022/sonota/kyoiku/kyoikucenter.html>

お問合せ先

教育委員会事務局教育政策推進課担当課長 川島 大介 Tel 045-671-3771